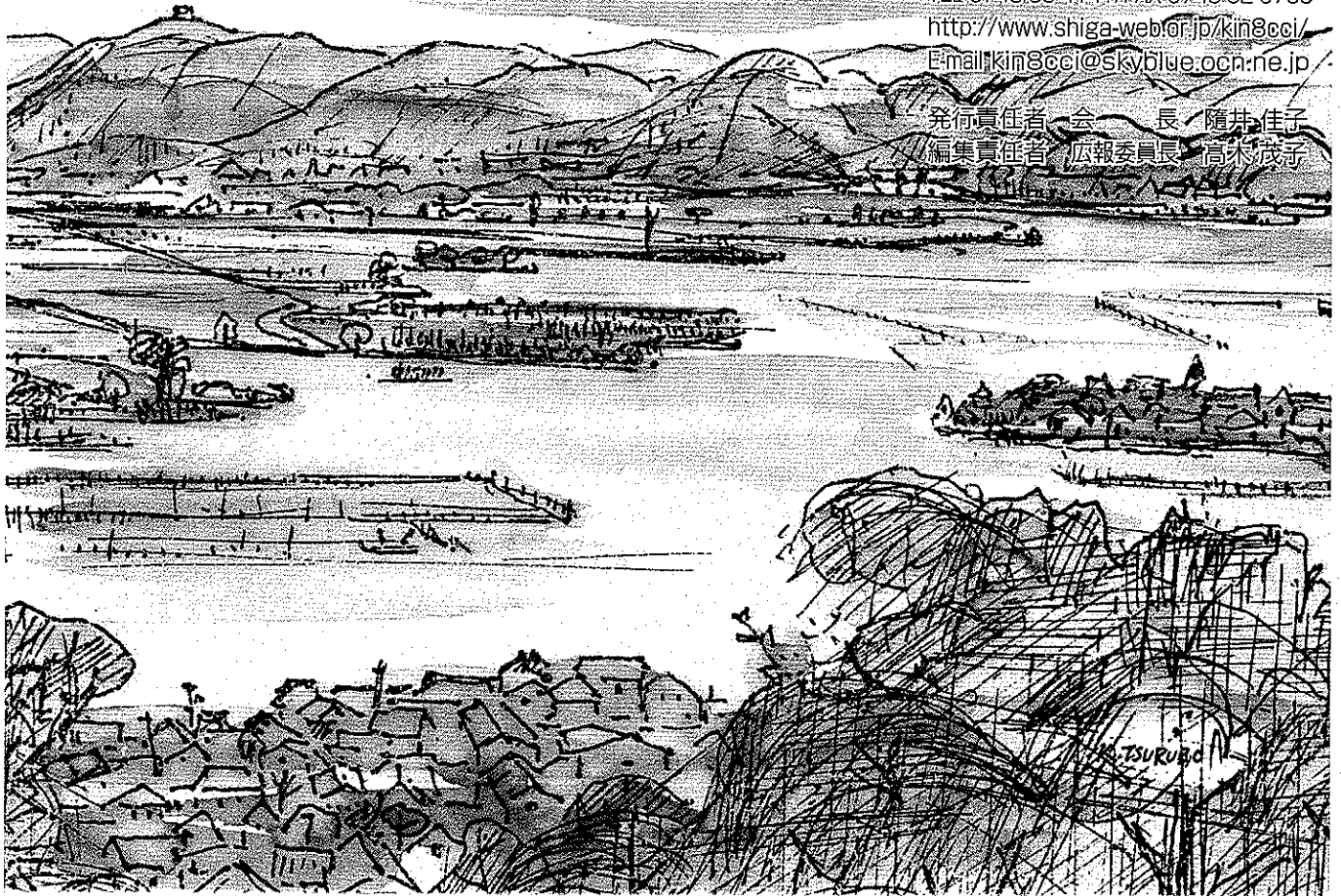


あすなろ

発行所 近江八幡商工会議所女性会
 住所 近江八幡市桜宮町231-2
 TEL:0748-33-4141/FAX:0748-32-0765
<http://www.shiga-web.or.jp/kin8cc/>
 E-mail:kin8cc@skyblue.ocn.ne.jp

発行責任者 会長 随井佳子
 編集責任者 広報委員長 高木茂子



安土山より西の湖を望む

湖上の花火

西の湖で屋形舟から見た花火

しだれ柳が湖面に落ちる

夏の夜空を彩るロマンの光

心を掴んではなさない

長浜で土手に、ごぎ敷き見た花火

孫と歌った“花火のうた”

湖面に映るロマンの光

たぎる情熱、心ゆさぶる

鳩の浜で観客席から見た花火

「ウアー・ウオー」

はじける歓声、命にひびく

音と光の競演に酔う

藤井 悦子

歓迎・感動・感激・感謝

「湖」「みどり」「人」きらめく近江路へ

近江八幡商工会議所女性会 会報「あすなる」に寄せて



近畿商工会議所女性会連合会 会長
大阪商工会議所女性会 会長
長谷川 妙子

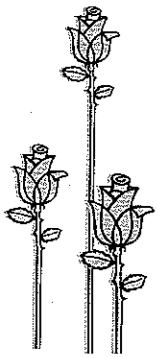
近江八幡商工会議所女性会の機関紙「あすなる第十八号」近畿大会記念号に寄稿する機会を頂戴し、大変光栄に存じております。

近江八幡商工会議所女性会が、当時は婦人会として平成二年に発足されて以来、メンバーの皆様が心を二つにし、女性経営者として資質向上を進める一方で、町のクリーン作戦など社会福祉活動を中心に、地域に密着した活動を十六年間にわたり、地道に推し進められてこられましたことは、商工会議所女性会のお手本とも言うべき見事な活躍ぶりであり、同じ女性会メンバーとして深い感銘を覚えます。

近畿商工会議所女性会連合会におきましては、本年六月三日に、ご当地近江八幡市におきまして、「総会・近江八幡」の装い展を開催して、花を添えて頂きました。ゆかりの布製の鶴の袋小物があるとのこと御指導を得て、参加の皆様はプレゼントを、一針一針心をこめて縫い上げ、中にいわれの説明書と、可愛いキャンドイを詰めて頂き、私達の一番の思い入れ大きな作品となりました。

懇親会は会場の都合で心苦しくも全員参加していただけませんでした。女性らしいコーラス、各地のお国自慢を盛り込んだ江州音頭、華やかな傘・扇子踊り、子供達による沖島太鼓の演奏で雰囲気も盛り上げ、信長料理を一部再現したものを含み、数々の郷土料理に舌鼓を打って頂き、和やかに友情の輪が広がった宴の一時でした。この大会を通じて、沢山の心に残る感動を与えられ、貴重な人情、友情と人生経験を深めさせて頂き、心ほのほの有難く思いました。近江八幡商工会議所女性会ここに有りと誇りに思い心の糧として精進努力して参りたいものでございます。

私達女性会の今後益々集いの輪(和)が大きく、凛として華やかに光り輝きますことを念じて！
ありがとうございました。



大会」を開催し、近畿一円から九〇〇名を超える、過去最多数の参加者にお集まりいただき、素晴らしい女性パワーを示すことができました。

皆様の明るい笑顔とあたたかい真心は、今も記憶に新しいところですが、女性会のみならず、近江八幡市をあげて多くの皆様よりご協力下さった大変意義深い総会となりました。

本総会の開催にあたりましては、随井会長さまをはじめ役員・会員、ならびに事務局の皆様が、心を二つにしてご尽力された賜物と存じ、関係各位の素晴らしい結束と温かいおもてなしに、心から感謝申し上げます。

さて、社会構造の変革や経済のグローバル化が一層進む中、商工会議所女性会を取り巻く状況にも、新たな変化のうねりがうち寄せております。

当連合会といいたしましても、近畿、そして全国に広がる三万人女性会会員の一大ネットワークを活かし、女性の時代をリードする役割を担う意気込みで、「交流と創造」をモットーに、人と人との交流・研鑽の場を通じ、新たな友情と交流

近畿商工会議所女性会 連合会総会のお礼



近江八幡商工会議所女性会副会長
小林 英代

近江の田んぼは、ほぼ取り入れも終わりましたが、あちこちにはコスモスが美しく咲き乱れ、果実も日に日に色付きを深めてまいりました。この過ごしやすき季節を迎え、会員の皆様には、益々お元気に活動されておられること存じます。

今年の六月に当地近江八幡におきまして、近畿商工会議所女性会連合会総会を開催して、早くも四月月あまり過ぎましたが、まるで昨日の事のように思い出されます。六月三日を合言葉に、一年がかりで取り組んでまいりましたが、準備段階ではたいへんなことがいっぱいありました。女性会の会員の皆様、商工会議所の事務局の皆様、地域の大勢の方々のご協力や温かい励ましを頂きました。

また、滋賀県商工会議所女性会連合会の西居咲子会長の「力強い団結を持って頑張れば大丈夫、頑張つてねー！」と期待のお言葉を頂きました。

文字どおり、近江八幡女性会会員一同、力を結集し無事九百十一名の方々を各地より近江八幡にお越しいただき、喜んで頂くことが出来たと思えます。近畿商

の輪を創造して参りたいと存じております。

近江八幡商工会議所女性会におかれましては、商工会議所女性会という素晴らしい舞台の上で、限りなき未来に向かい、さらなる飛躍、発展を遂げられますよう、心よりご祈念申し上げます。

大輪の花今ひらく



近江八幡商工会議所女性会会長
随井 佳子

戦後六十年の節目の年の平成十七年六月三日、祝福するかの様な晴天に恵まれ、市文化会館大ホールに於きまして、第十七回近畿商工会議所女性会連合会総会近江八幡大会に、近畿二府五県の各地より史上初の九百十一名のお仲間を賑々しく、こよなく愛する近江八幡にお迎えすることが出来ました。

事業経営に携り乍ら、女性の資質向上を図り、親睦・健康・文化・地域社会への福祉の増進、環境保全にと努力する

工会議所女性会連合会・長谷川妙子会長からも「大成功だね！」とお褒めのお言葉を頂き、たいへんうれしく思いました。そして、無事に次に引き継ぐことが出来てひと安心しております。

あらためて、会員の皆様、本当にお疲れ様でした。心より御礼申し上げます。全国商工会議所女性会のキャッチフレーズ「女性の元気が未来を築く」が選定され、景気かいふく、地域の活性、暮らしの安定、男女共同参画社会の実現を目指して、近江八幡が更に住みよい町になるように、近畿商工会議所の方々と情報交換しながら、私たちの活動方針を着実に実行出来るよう精進努力してまいりたいと思えます。会員の皆様、今後ともご支援のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

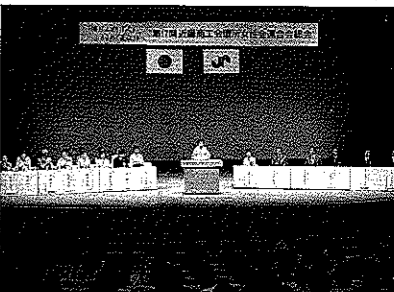
簡単ではございますが、私の御礼の言葉とさせていただきます。

「湖」「みどり」「人」近江路へ 「ようこそ」!!



近江八幡商工会議所女性会副会長
村井 光子

平成十七年六月三日(金)第十七回近畿商工会議所女性会連合会総会近江八幡大会が晴天の下、当所会員は勿論



賜りましたこと心より厚く御礼申し上げます。

約一年半前より準備に入り、会員一同ごぞつて、第十六回近畿商工会議所女性会連合会総会和歌山大会に参加して、水郷と古き商家のたたずまい近江八幡、詩情あふれる近江八幡、あきなどの町近江八幡、歴史文化の香る近江八幡を江州音頭に乘せまして、PR。招致に努めました。この時より「心を二つにして」を実感し心熱くなる思いでございました。

何度も会合を重ね、適材適所の役割分担をし、ご苦労・努力をして頂き、事務局の夜を徹してお世話をお願いして、記念すべき日を迎えさせて頂きました。滋賀県副知事安藤よし子様、近江八幡市長川端五兵衛様はじめ来賓の方々のご臨席を賜わり盛大に開催させて頂くことが出来ました。近江八幡らしい大会にしようとお申合わせました。その中でも、近江八幡市立資料館の近江商人の妻た

の事、建設工業会青年部の方々又ボランティアガイドの皆様他各種団体の皆様のお陰をもちまして「湖」「みどり」「人」きらめく近江路への名のもとに華々しく開催する事ができました。

心配しておりましたお客様も、前代未聞の九百十一名をお迎えすることが出来、本当に喜ばしい事でした。話が持ち上がったのは一昨年の夏でした。この様な大事業が近江八幡で出来るのかと心配でしたが、何度も何度も会議をするうち、会員の皆様の結束も出来るようなアイデアが生まれて来ました。

【近江八幡らしく】をモットーに質素でも思い出深いものに成るようにとの思いで、話が進んでいきました。料理も「天下料理信長膳」を、又、江州音頭で楽しんで頂く、そしてお土産の中には鶴翼山(八幡山)にちなみ、鶴の細工袋(小物入れ)を近江八幡市立資料館副館長様の指導を頂き、会員皆で一針一針真心込めて、作り上げる事が出来ました。

これも皆様方の心意気のお陰と感動致しました。この大会でいろいろな事を学ばせてもらい、また喜ばせて頂く、この様な得難い絆をさらに強固なものにしていきたいと思います。

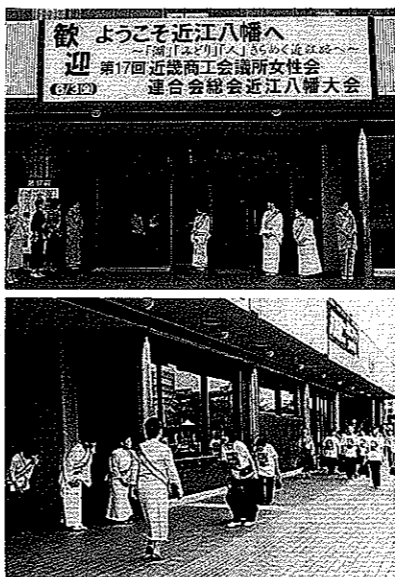


近畿大会の思い出

藤居 久栄

第十七回近畿大会が近江八幡で開催されることになり、昨年第十六回の和歌山会場へバスで近江八幡のPRのために参加しました。そこで見たのはお金の多かったスケールの大きいものでした。それから近江八幡大会のために何回も話し合いが重ねられ、お金をかけない近江八幡らしいものをとということになって、本格的に予定が組みられていきました。その中で資料館にも治められている布製折鶴の小物入れを、会員が作っておみやげにということになり、私はミシンもできないし困ったと思っていたら、裁断に「役買う」ことができず、その数五百個以上が会員の協力で作られたのです。寒い時から汗のじむ季節にまで、かかりましたが、「よう出来たなあ」と感心し感動しました。鶴のお腹の中に説明書とアメ玉を入れて付加価値を付けてもらって。

懇親会の江州音頭の盛り上がりを見た時、「わあー良かった」。お帰りのお見送りに力が入りました。



近畿大会を振り返って

久保田 操

梅雨の晴れ間と云うのか天候にも恵まれ、無事近畿大会を迎える事が出来ました。私はバスにて来られるお客様とホテルニューオーミデの親睦の宴でのお席の係をさせて頂いていただきました。(まず)第一印象として、素晴らしい、清しく生き生きとしておられた事です。商工女性として積極性のある、そして知的なあの明るさと優しさに、私は商売人の主婦として、云いようのない魅力を感じた皆さんでした。あの笑顔とお会いした時から、今迄の大変さ等々：吹っ飛んでしまった様な感じがしました。そしてもっともつと生きる勇気と云う、大きなエネルギーをこの大会で感じさせて頂きました。

鶴の恩がえし

福本 洋子

過去最大規模の総会となった近江八幡大会。当日ご参加の皆様をはじめとして、沢山のスタッフの皆さんのご尽力のおかげで大きな事業を遂行し、会員一人ひとり達成感を味わうことが出来ましたこと、先ずお礼と感謝を申し上げます。正直、引込思案から始まった大会準備でしたが、六月三日へのカウントダウンが本格化し出した頃には会員の大会受け入れ体制も整い、準備に加速度がついたように思います。

どんなおもてなしが、滋賀県での八幡らしさを表現できるか、たび重なる検討がなされ、「鶴」をモチーフに小物入れを制作することになりました。家業の多忙さもあり、一同に会して度々制作

太田 悦子

近畿大会、不安でいっぱいスタートだったけれど、大成功に終わり、多方面にわたる皆様のご協力に感謝、感激！

脇坂 高子

大きなイベントだったので、びっくりしました。私は玄関でお迎えの係でしたが、みんなオロナミンCのコマーシャルではありませんが、元気ではつらつとしておられて、大きなパワーをもらいました。

若林 幸代

近畿大会、少ししかお手伝い出来ませんでした。が、会員の方々のチームワークのすごさに感激しました。又、皆様に仲良くして頂いたと感謝いたしております。

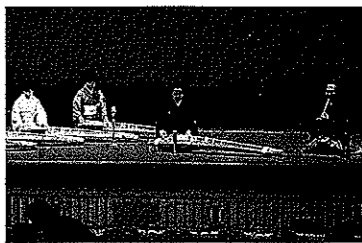
岡田 眞佐子

近畿大会も大成功に終わりほつとして今日此の頃です。思えば昨年十二月に市立資料館の旧伴家に於いて河内先生のご指導の下、布製の折鶴を教えて頂きました。その時は可愛い鶴が簡単に出来上ったと思っておりました。その鶴を今度の近商女性連大会で、近江八幡の女性会手作りのお土産にしてはとの会長の声で作ることになりました。いざ作り始めると羽に思いのほか時間がかかり、数も五百余りと多く、日数が足りません。そこで何人かで、裁断する方、かがる方など分業す



することは出来ず、個々の会員さんのお家で二羽二羽生まれていきました。

参加者申込みが徐々に増えるに従って皆で夢中になって取り組む楽しさをも味わいました。



「大会を近江八幡で」との随井会長の志と、総勢九三九名の皆様からお寄せ頂いた大会への熱き思いが、私達女性会もこの大会のために設立十五周年の集大成として、育んできた連帯感を発揮し頑張ってみようと、意気を感じました。当日私が会場入りした時には、もう終宴前でしたが、櫻美家天勝一座による各県のお国自慢入り江州音頭のお囃子と踊りの真最中。テーブルには参加者皆さんに心尽しの鶴が舞いおり彩りを添え、大いなる盛り上げを目の当りにしました折の感動は計り知れませんでした。小さい輪である会員が専門の人達のお力を借り乍らも係を分担し、協力し合う、参加者も労をねぎらう様に盛り上げて大きな交流の輪を繰り広げて下さり、会場は「和の心」でいっぱい。「三方よし」の習わしがここにも少し出されているように感じました。一針一針縫って下さって生まれた鶴が会員に、参画出来た喜びと達成感を与えてくれたのかも知れません。当日ご参加の皆様、本当にご苦労様でした。

これからも、藤田弓子さんのお話のように「いつも何かにとまめいていよう」と努力して、ワクワク、ドキドキを感じる心を持ち、皆さんの輪の中に加えて頂き乍らイキイキと毎日を大切に過ごしていきたいと思っております。

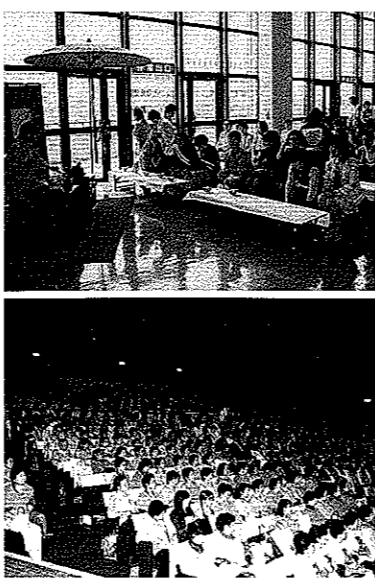
『大会』が終わって

竹山 芳子

昨年、随井会長から「平成十七年に近商女性連の近畿大会を八幡でせんなんのや。入って！」と勧められました。大会の賛助会員と思つて軽い気持ちで入会させていただきました。ところが大会の準備会議が始まりますと第二委員会の委員長に推されて、いつの間にか第二委員会の委員長にさせられていました。第二委員会は広報担当でプログラムに掲載する広告の掲載依頼が初仕事でした。何をどうすればいいのか皆目見当がつかないまま事務局がリストを作ってくれました。担当を割り当てましたが、



広告が思う様に集まらなくて申し込みの締切日を二度も三度も延長しながら数回の会議を重ね、ようやく広告の試し刷りが出来上つて来た時はホッと致しました。五月に入ると、会合の



間隔が短くなりましたが、ピンクの封筒が届く度に、何かの糸にひかれる様に、他の用事はそっちのけで商工女性会の会合に参加していました。

総会の為の運営マニュアルも第一稿は三十四頁、第二稿は三十五頁、第三稿は三十九頁と稿を重ねる毎に内容が綿密に検討され、細部まで行き届いて来ました。総会当日手渡された第五稿にはバスの進入路から駐車場。総会会場から懇親会会場への送迎手順。係別の人員配置。それぞれのタイムスケジュールなどマニュアルを読めば大会の動きが一目瞭然に記載されていました。

当初五百名の目標だった大会の参加人員も最終九百十名にもふくれ上り、近江八幡の人氣も一寸したものだと思えます。

懇親会会場では、布製折鶴の小物入れ、信長膳、近江牛のステッキ、菊紋り盛りちらし寿司等々、話題の品物が並んでいたせいなのでしょう、大した盛り上がりで会場中が話し声でパイになり、ソアーズさんの折角の美声もかき消される程でした。会場の熱気をそのまま積み込んで笑顔のバス達が発進して行くのを見送った時にはよかったです！よかったです！ほんとによかったです！



近畿大会を終えて

平井 さち子

近畿大会が、ここ近江八幡で開催される事が決定され、昨年の和歌山での大会を思い起こしました。あの様に立派な建物に広大な駐車場を確保し、大勢の会員の皆様の送迎が果たしてできるかどうか…大変不安でした。

会合に何度も出席したものの、事務局から運営マニュアルをもらって話を聞いても雲をつかむよう現実感がわかず、その上分担当には場外誘導係り主任と記されていて、あせり、戸惑うばかりでした。

大会当日は、なんとか天候に恵まれました。初めてマイクを身につけ、何台ものバスの到着の連絡を次々に耳から入れながら、顔はいつも笑顔で大勢の皆様をお迎えするという、何が何やらわからない時間を過ごしました。もちろん私だけに限らず、会員の方々もそれぞれの持ち場で、御苦労されたことと思います。その女性会一人一人のパワーの結集で、九百人以上の会員様を無事お迎えし、お送りする事ができました。

「湖」「みどり」「人」きらめく近江路へ来幡下

近畿大会開催の

チャンスに恵まれて

田村 俊子

近畿商工会議所女性会連合会総会の開催地が、近江八幡に決った時、私達は大きな責任と必ず成功させようとの思いで、平成十七年六月三日の開催日に向けてスタートしました。先ず会員の役割組織図より始まり、昨年の開催地の前例を参考に検討し、近江八幡ならではの演出について話し合いました。

総会と懇親会が同一会場で行われる所があるかどうか検討の結果、文化会館、ホテルニューオウミと二会場に決定。そして近畿各地よりの大会参加会員のバスの発着駐車場手配、懇親会のテーブルを飾る鶴の作成（開催日近まで数名の会員の努力協力により、約六五〇羽の手作り鶴が出来上がりました）、懇親会の信長膳の試食会予算と内容の検討（準備の中では嬉しかった思い出の一場面でした）、総会出席会員の席に配る近江八幡の物産の選択（近江八幡を知って頂き喜ばれる物産に知恵をしまりました）

当日の大会資料に載せる広告も少しでも多く集めたく、各企業様へと動きまわりました。総会の記念の出し物の講演は総会の中のイベントとして、ウエイトが高く私達も大変心配し

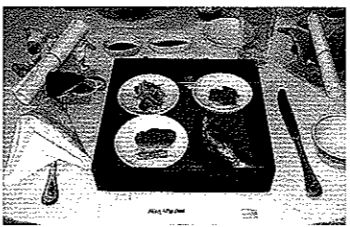


さった皆様から感謝致します。無事任務を果たし、多くの感動をもらう事ができた二日でした。

懇親会

中江 しげ子

水無月の六月三日、遂に大会当日を迎え、盛大に開催され見事に成功致しました。当日迄に色々課題や悩んだ事も飛んでしまいい感動のみでした。当懇親会担当も五百名もの参加者の方々に喜んで頂ける料理をとホテルニューオウミさんに御無理を申し上げ、試食を重ね私達の希望としたいを了解して頂き、参加者の方々から大変評判が良くおいしく召し上がって頂きました。アトラクションについても、参加者の方々の途中で帰りになる事。当初のタイムスケジュールを変更したりと皆さんのお出迎えの準備は出来て安心していましたが、総会が少し延長している連絡があり、「やきもき」しましたが、事務局の適切な連絡、指導により計画通り進行出来て嬉しく思いました。



沖島小学校児童の皆さんによる、お出迎えにふさわしい太鼓演奏は力強くとても素晴らしいものでした。又、ソアーヴェの皆さんの美しいハーモニイ歌声で演奏曲目も参加者も自然と聴き入って頂き、疲れが和らげた事と思います。最後は江州音頭。この日の為に参加者の地名を入れたオリジナル音頭を唄って頂き、他府県の方々も踊りの輪の中に入って楽しそうな顔姿。本当に大いに盛り上げ



綿密な資料作成と指導のお蔭と今さら乍ら感謝しております。

平成十七年六月三日の大会当日は、近畿女性会メンバーのパワーが結集され、華やかさと力強さに包まれた大会場になり、来賓の方々を迎えて、近畿女性会の事業内容・説明・検討に真剣に取り組み、又、藤田弓子講師の生活の中のユーモアに笑い興じ感動の涙で埋まりながら総会は終りました。

懇親会会場には出席会員全員をお招きする事が出来ず、誠に残念でしたが、お一人でも多くとホテル側にお願ひ致し、ホテルの方も今までに迎えた事の無い大人数に大変苦労と工夫をして頂きました。信長膳と手作りの鶴で持て成し、江州音頭で盛り上げ、会場全員の踊りで輪を作り、今日の出会いを楽しみ、有意義な一日が終わりました。

遠方よりの会員の方々の再会を約束し、近江八幡の良き印象と思ひ出を、お土産にして頂けたかと思いつつ、バスが見えなくなるまで皆で手を振り見送りました。近畿大会と云う、この大きなイベントを無事終

て頂き、近江八幡市らしい催し内容だと自負しております。これも事務局、会員、関係者各位様の御蔭と心から感謝と御礼申し上げます。

反省

川島 昌子

毎日の生活に追われている中、あすなるの原稿を要請され、近畿大会で「何やったんやろう」と思い返しています。私の意識の中には消え去ろうとしている。それだけ自分自身が大事業の行事に協力していなかったことになる。果たして自分は何をしたのだろうか？と反省をしています。

思い考えますと二年程前より仲屋町の者が左義長を作る作らないの問題から始まり、鶴の制作、河内さんのご協力を受け割当分十羽作り、前日の準備、当日の役目と、微力ですが、私は私なりに協力させてもらったのかなあと思ひ直しました。この事業を大成功で終わらせた力は、何百人いや何千人の人達の協力の賜物でしようね。立場により責任の重さは多少ありますが、各一人一人が自分の責任を全うすることにより成功したんだと自負しております。



家庭生活、店、会社での自分の立場、位置をしっかりと見定め正しい判断と、決断力により言動を行っておれば間違いないのですが、なかなか難しく出来にくいものです。努力、努力と自分に言い聞かせています。

える事が出来ました事は、会長・会員の努力にも増して、周りの色々の皆様の御援助のお蔭と感謝致します。又、当会員の皆にとつて、大きな体験であり、総会当日までのプロセスを感じ、貴重な経験をした事は、会員各自にとって大きな成長に継がり、この様なチャンスに恵まれた事を感謝致します。

『支えあひ』

高木茂子

今回の近畿商工会議所女性会連合会総会の開催にあたり、会長から皆でやりたい、やりましようとの声が上がった。これまで開催された様子を省みれば千人規模のものをこなしていらつしやるから当地で受けることは困難であり、ハードの部分で難しいのではないかと思っていました。幾度か会長会議をなされた結果集客人数が少なくても一杯近江八幡の持ち味で頑張りたいという事で開催することが決定となり、広報委員長をさせて頂いている私に、イベント全体の企画案を会長からおおせつかいました。一体どのような方向で展開すればいいのかと、近江八幡商工会議所女性会始まつて以来の大事業です。結成十五周年でもあり会員一同が結束すれば、素晴らしい事が出来るのではないかと思ひ、提案させて頂きました。



近江八幡らしさ、当地女性会のおもてなしの方法など前広報委員

長の井上さんと忙しいといながら、ない知恵を生懸命絞らだして互いに裏方に徹し、六月三日を迎えられたのです。私にとって人生忘れられない日となりました。会社経営と義父の介護のなかで時間をつくる事の大変な日々、井上さんも同様義母の介護と嫁の責任を肩に背負いながらの紛争でありました。「近江八幡市」のアピールと当女性会のパワーをお伝えする事、何よりも一番にはお迎えする近畿女性会の皆様を気持ちよく歓迎し無事お送りする事が最大の目標です。

講演には近江八幡出身の人間国宝の志村ふくみさんに是非お願いしたかったのですが体調が優れないとのことで断念しました。多くの方の尽力を頂き人気が上昇中の美輪明宏氏の講演がお願いできる事となりましたが、告知後変更を余儀なくすることになりました。会員はもとより事務局や本部の方々には大変ご迷惑をおかけする事になりました。プロデュースをしてくださった企画会社の方にお骨折りを頂き藤田弓子氏を迎える事が出来ました事は感謝に耐えません。また、近江八幡は近江商人の発祥地であり商人の妻たちが残した多くの文化があることを皆様に知って



いただいたかったです。資料館の江南館長や河内副館長には大変お世話になりました。近江八幡には素晴らしい着物文化が残されており、資料館では着物展を開催いただき、またホテルニューオウミ様が以前再現された「信

長料理」の一部を女性会のためにアレンジして宴を盛りあげてくださいました。

商人の妻たちを見習って、お細工袋がレセプションにご参加頂ける方全員にプレゼントできるよに、多くの布が会員から集められ、岡田さんを筆頭に見事に連携プレーで六百以上の手づくり鶴ができてあがりレセプションの会場は大変盛り上がりつつある様子。当日アトラクションのソアウエ様が、和歌山大会からお世話になっていた江州音頭の桜美家天勝様が多いに華を持たせてくださったと聞いていました。(当日参加できなかったので、この感激が味わえなかつた事がとても残念)

もうひとつ大きな課題は当地が用意できるお土産にありました。総会出席約九百名の方々の記念品となるお土産を用意させていただくことでした。地場産業の皆様には大変申し訳なくいろいろ尽力いただき、ご当地オリジナルギフトを提案することが出来ました。私事ですが六月一日の午前に文化会館にギフトの納品準備が終了しほつとしていたその日の夕方、突然入院中の義父の様態が悪くなり亡くなりました。家で介護をしていましたが、熱が出たりすると入院するといったことを繰り返してあり退院する予定でしたが急変してしまいました。

六月三日は、葬儀と本番が重なりどうすることもできませんでしたが、不思議にも義父が私の裏方役目が終了するのを見守ってくれていたのだと感謝しています。夫も支えてくれました。もちろん当社のスタッフも遅くまで頑張ってくれました。何よりも裏の裏方をしている事務局の皆さんの頑張りには敬意を表します。毎日夜八時に父の入院先の市民病院に行きます。九時過ぎに病院から出てくると前に位置する一階の商工会

近畿大会までの経緯・総会の流れ

近畿商工会議所女性会連合会では、総会実施を

二府五県(大阪府、京都府、兵庫県、和歌山県、福井県、奈良県、滋賀県)の輪番制で開催されること、平成十一年度決定され、平成十三年度から輪番制がスタート。
平成十三年度大阪府、平成十四年度福井県、平成十五年兵庫県、平成十六年度和歌山県、平成十七年度滋賀県、平成十八年度京都府と続きます。

※福井県・奈良県は交代で担当される
※過去に大津一回、彦根一回で開催されております

平成十五年度に入り県商女性連の正副会長・監事会では、来たる平成十七年度第十七回総会に向けて受入れ窓口となる女性会を決定するための検討がなされ、随井会長の意向と県下五女性会のバックアップで「是非、近江八幡さんでお願いします」と決定していただいた。



当所女性会では、平成十五年十月十四日に臨時総会を開催し、地元開催誘致の承認を受け、平成十七年度第十七回総会実施に向けてスタート。十月二十七日に正副会頭会議、十一月十二日に

常議員会においても承認されお引き受けする運びとなりました。

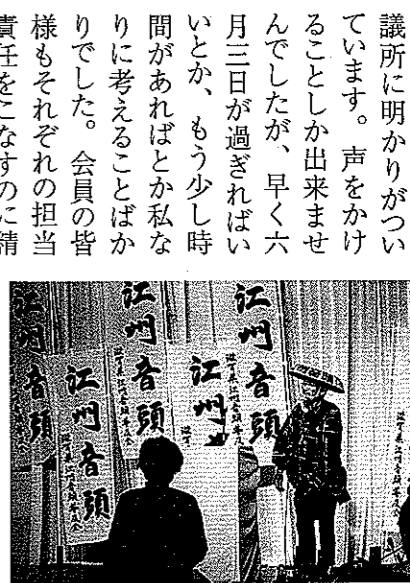
一年半前から準備に入り、日が近づけば近づくほど問題も発生し、会員みんで一致団結し、進めて参りました。あとは開催日当日が天気で、笑顔で近畿の皆様をお迎えすることでした。

平成十七年六月三日(金)前日の雨の心配から打つて変わって、晴天に恵まれる中、近江八幡市文化会館に於いて、午後一時半より、「湖」「みどり」「人」きらめく近江路へ」をテーマに第十七回近畿商工会議所女性会連合会総会近江八幡大会を開催。

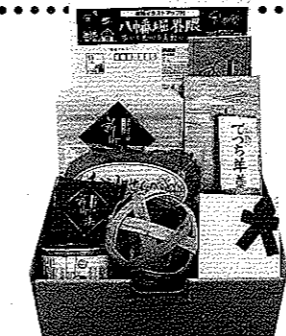
近畿二府五県より、五十三女性会から九百十一名の参加をいただき、過去最大規模の総会となりました。オープニングでは、地歌演奏家 菊聖公二氏、西居県商女性連会長等による、琴・三弦・尺八のウェルカム演奏後、総会開催。

長谷川近商女性連会長から「女性会会員の熱きパワーを結集し、これまで以上会員相互の研鑽をはかり、商工会議所女性会という素晴らしい舞台の上で、あらたな友情と交流の輪を創造して参りましょう」と挨拶され、随井当女性会会長が、開催地を代表し「近畿大会開催以来最多となるご参加に対し、言い尽くせない喜びとお礼、感謝の気持ちでいっぱい」と歓迎の挨拶を述べた。

来賓の安藤滋賀県副知事、川端近江八幡市長、尾賀商工会議所会頭からそれぞれ、近畿経済の発展に、女性ならではの新しい視点と発想への期待や、女性の力が、近江商人の活躍の支えとなつてきた事例を交えながら今回の大会開催への祝辞をいただいた。各議事案も、満場一致で全議案可決承認された。小ホールでは、地元物産販売、観光PRを開催。多くの買い物客で大いに賑わった。



議所に明かりがついてます。声をかけてください。声がかけていたが、早く六月三日が過ぎればいいとか、もう少し時間があればとか私なりに考えることばかりでした。会員の皆様もそれぞれの担当責任をこなすのに精一杯の毎日で本番を迎えたことと思います。当日葬儀が終了して夜九時ごろだったか何気なく文化会館の周りに車を走らせている自分がありました。数人の人影が会議所に向かっているのを見て無事終了したことを確認してしまいました。最後に皆さんにはご迷惑をおかけしたことをお詫びすると同時に人それぞれの関わり方であったと思いますが、金銭的に奉仕をされた方、知恵や作業で時間を奉仕された方それぞれに出来ることをやり、無事近江八幡の女性会の心意気を伝えることが出来たと思います。目に見えない苦勞は会長はじめ三役様には計り知れないものがあつたと思います。いずれにせよ公私共に忘れられない日となりました。六月三日は義父の命日となり、家族の支えにより今日を迎えられていることを感謝したいと思います。



また、随井宗行社中による呈茶コーナーも開催。記念講演では、女優の藤田弓子さんが「いつも何かときめいていよう」と題し講演、ご自身を「元氣配達人」といわれ、自分を育てる「育自法」や笑顔の作り方など真っ赤なブレザー、白のパンツスタイルでユーモアと親しみの



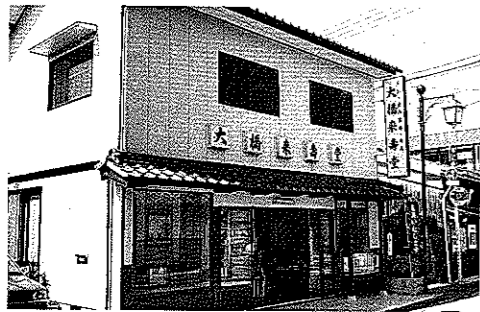
ある話術でステージいっぱいの動きある講演内容で会場を魅了していただきました。

懇親会は、会場を移動し、ホテルニューオウミにて開催。沖島小学校生徒さんによる、沖島太鼓で参加者をお迎えし、小林当女性会副会長の開会挨拶、伊藤近商女性連副会長の乾杯挨拶の後、懇親会をスタート。会員相互の交流、懇親の輪を深められた。

ステージでは、アンサンブルグループ「ソアウエ」さんの美しい歌声と、櫻美家天勝一座さんによる、江州音頭のアトラクションで会場を盛り上げていただいた。櫻美家天勝一座さんの舞台では、ステージと会場が一つの輪になり、江州音頭のお囃子と踊りで大いに盛り上がりを見せる中、村井当女性会副会長の閉会挨拶をもって、今回の大会を盛会裡のうちに終了できました。

今回の大会開催に際し、県下各女性会、観光物産協会、建設工業会青年部、観光ボランティアガイド協会、市立資料館、市商工観光課等の皆様のご支援・ご協力をいただきました。

拓びやまひます!!



大橋来寿堂三代目のご主人は表具専門店を経営され、襖、掛軸、障子、額、屏風、二枚折、風呂先衝立などの新調、張替はもちろん、代々の家宝、住居の片隅で眠っている古画など、いろいろな再生を手掛けておられます。

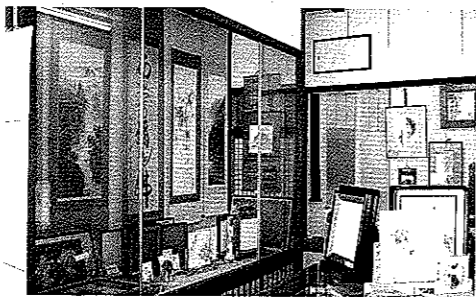
お客様に「家宝が立派になって！次の世代に渡せる事ができたわ」と喜ばれ大変嬉しいとおっしゃっております。また、ご相談も数々あり癒しの住まいづくりのお手伝いをされ、インテリア関係のカーテンやブラインド、クロス貼りなど住まいの内装工事を施行されています。



大橋来寿堂

近江八幡市仲屋町上十七

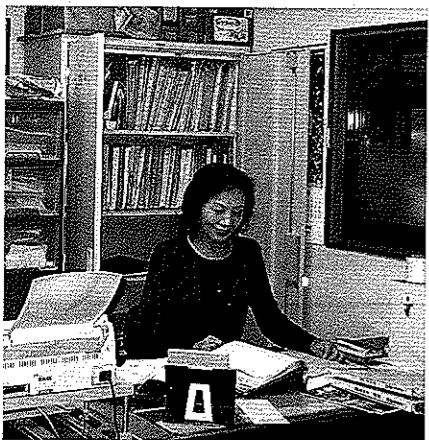
大橋美代子さん



「もの作り屋は、定年のない一生の仕事だ」とご主人は言われ、体が資本ですので、健康に気をつけて頑張っておられると内助の功と奥様のことは、匠の技を極めるご主人と奥様の明るい笑顔が看板でお店を切り盛りされておられるご様子です。

あきんど道商店街仲屋町に面した趣きのあるお店。「大橋来寿堂」の名前は住友商事総理事の伊庭貞剛が名づけたそうです。

「輪を広げ、和を大切に」と奥様は商店街や地域活動に参加され、元気で明るいお店づくりを二人三脚で頑張っておられます。



昭和四十一年七月一日に会社組織にし、当初は家畜飼料全般の卸業から始められました。当時、鶏卵については仕入後、選別洗卵し、各スーパー、菓子店、料理屋、パン屋等に納入されておりました。

時代の流れと共に飼育業者の衰退、また設備投資、並びに人件費の削減のため飼料等は止め、鶏卵についてはGPセンターに依って加工の上、自社へ入荷後卸販売をするようなシステムにされました。

又、その跡地に賃貸住宅を建設し管理業もされています。



株式会社ウエサカ

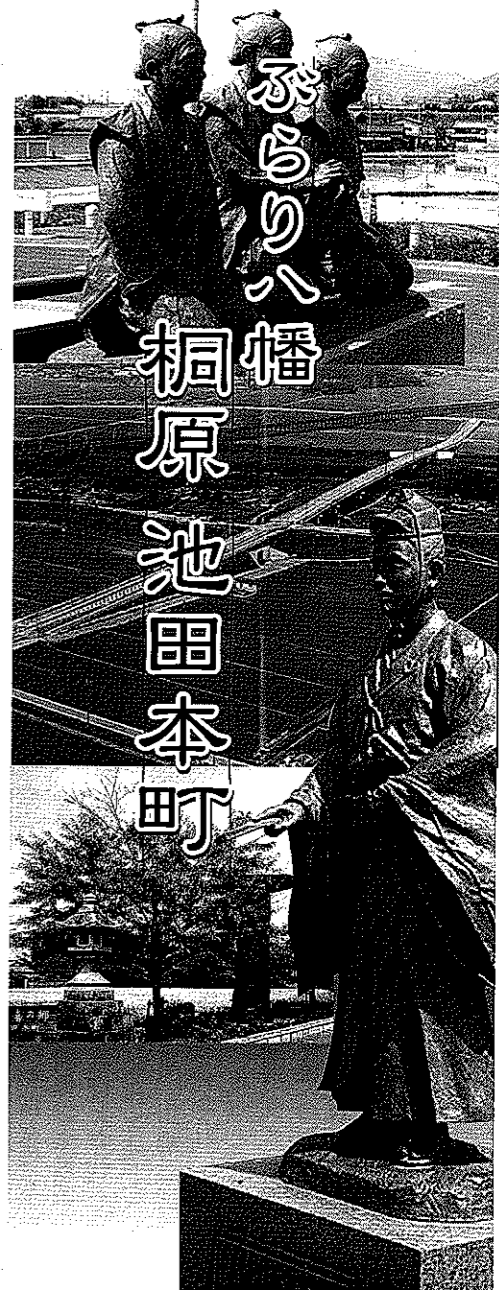
近江八幡市中村町六五五一

上阪廣子さん



「普通の鶏卵は競争も激しく、商社が大規模養鶏場作りに進出して来ているので、当社も養鶏場と契約し、特殊卵へ移行する等、日々卵の開発を考えなければいけない苦勞があります」と開発や販売のお話を頂きました。

「日々感謝」を座右の銘にして頑張っておられます。はつらつとお仕事されている姿が印象的でした。



上から 桐原新橋モニュメント「三人庄屋」、桐原新橋、六四喜の郷、桐原新橋モニュメント「秀次像」

まちづくり「六四喜(むつきよんき)」

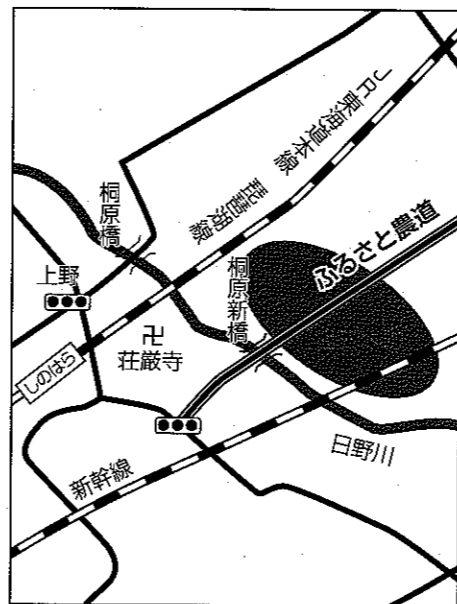
池田本町にはユニークな町づくり活動があります。それは六十四世帯が一体となり「六四喜(むつきよんき)」というネーミングで河原の美化、周辺道路の整備、緑化運動などの活動展開「四季の花咲く大樹の里」づくりです。中でも、歴史と文化を重んじる本町に残る古文書に基づき、樹齢四百年の松で大樹をイメージしたモニュメントをつくりハローウインド(悪行退散の樹)と名づけて町のシンボルとしたり、藤を好んだ中江藤樹の高弟、熊沢藩山(※下部参照)の勉強処が近くにあったことから、電柱を再利用し、戸数にちなんだ64本の藤棚を手作りで作成するなどの活動をされています。また、小学校の通学路への桜の植樹や花の栽培・水やり・草刈・苗育てなどを老人会・婦人会・子ども会などがそれぞれ分担し活動することから町民間のコミュニケーションも深まり、自治会活動が以前にもまして活性化されています。これからも「六四喜の郷」に関するこれらの活動を通じて失われつつある木々の緑に囲まれた生活を再認識し、やすら

ぎと美しい自然、歴史文化を子ども達に残し、後世に伝えるため個性的で魅力あるまちづくりを町民が一体となつて進めていくこととしておられます。

「桐原新橋」と歴史的モニュメント

約四百年、近江八幡を開町し、町を発展へと導いた豊臣秀次、彼の治世は短年であったがその善政は領民に慕われていました。この桐原も同様で、日野川水系に農業用水のすべてを依存していた桐原郷と述保郷の両村は例年にならぬひでりにより日野川原水の枯渇という深刻な事態に、この水源をめぐる流血の騒動となりました。

述保郷江頭、十王両村名主はこの水争いの裁きを領主秀次公に直訴したのです。秀次公は日野川水源に対する上流・下流、両村の水利権、また水飢饉に困窮する百姓の救済の重要さを認識し、武力鎮圧の時代にあがちな領主権力による一刀両断の裁きをとらず、八幡城々下町建設の最中、家老田中吉政を従え、領主自ら現地



くまざわぼんざん 熊沢藩山

1619~1691 元和5年~元禄4年

1639年(寛永16)岡山藩主池田光政の児小姓役を致仕、近江国桐原の祖母の実家へ移住。

1642年(寛永19)中江藤樹に陽明学を学ぶ。

後、1651年(慶安4)関谷学校の前身花園会の会約(建学基本原則)を起草。

1654年(承応3)百間川(岡山県:旭川放水路)の大洪水に、当時岡山藩の政治顧問であった熊沢藩山が越流堤(えつりゅうてい)と放水路を組み合わせた「川除けの法」を考案など、めざましく活躍した。

をつぶさに視察し、明快な裁定を下し、双方を納得させ穏便に水争いを鎮めたのです。

池田本町には近年、ふるさと農道が整備されました。これは、国道周辺と県道の流通体系の整備を図り、農産物の生産性を高め、農村環境の改善・合理化を進め、地域の農業振興と近隣市町との活性化を促進するために国道477号と県道大房東横関線を東西に開通しました。日野川には、「桐原新橋」がかけられその歴史背景をモニュメント秀次公と三人庄屋で紹介しています。

商工会議所女性会活動指針

わたしたち、商工会議所女性会は、リーダーとして、凛と信をもって連帯し、平和で心豊かな社会を築きましょう。

- 一、リーダーとは、高い志をもって、自己の変革・向上を目指すことです。
- 二、凛とは、情熱・勇気をもって行動し、社業の発展に努め、地域社会に貢献することです。
- 三、信とは、礼節・勤勉を尊び、美しい自然や良き伝統・文化を愛し、次の世代に継承することです。
- 四、連帯とは、女性会経営者の友情と信頼の輪を内外に広げることです。

近江八幡市へ寄贈

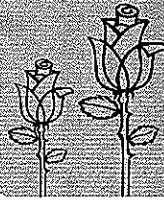
てんびんまつりに女性会チャリティバザーを開催。福祉事業の一環として、収益金の一部を近江八幡市へ。



今年、昨年6月に高齢者の健康増進や障害者の社会参加による自立支援を図り、全ての市民の皆さんが社会の一員として互いの人権を尊重し、共に生き、共に支え合い暮らしていけることを目指して整備された近江八幡市市民共生センター「はつらつ館」で使用される座椅子を5台寄贈した。

11月14日(月)、随井会長、岡田委員長が川端市長を訪問。

「市の福祉事業にお役にください」と目録を渡した。今年で13回目を向かえ、これからも社会に貢献できる活動が続けていく所存です。



会員募集

近江八幡
商工会議所の
会員事業所の

女性経営者
経営者の妻
または家庭で経営に関与している女性
職務上要職にある女性



第一委員会 「複項」 第三委員会 「福祉」
奉仕活動 人権問題研修会 新年懇談会 てんびんまつりチャリティーバザー
第二委員会 「研修」 その他 娯楽活動や学習会など
広報誌「あすなる」発行 市内研修会 多彩なイベントをおこなっています。

女性会への入会
お待ちしております!

近畿商工会議所女性会連合会の総会が無事終了し、広報誌は会員それぞれが思い出となった、総会の記録と反省を主に掲載させて頂きました。
また、昨春秋に表紙をリニューアル致しました。ご紹介が遅れましたが前回同様に、近江八幡在住の画家鶴房健蔵先生に「安土山より西の湖を望む」風景を頂きました。心より感謝申し上げます。
今後共、充実した会報となりますように会員皆様のご協力をお願いします。

編集後記

S
T

今後の行事予定

平成17年

11月 あすなる第18号発行

平成18年

2月 新年懇談会

市長と語る会

3月 正副会長会議
理事会